


学位論文の調査要旨

| 専攻名 (又は推薦専攻名) | 地域イノベーション学専攻 | 氏名 | 小田島 春樹 |
|--|--|---|--------|
| 学位論文題目 | 観光地に立地する中小飲食店のプロセス・イノベーションに関する事例研究 —ビッグデータの活用を中心に— (英訳: A Case Study on Process Innovation of Small Scale Restaurants located in Tourist Spots - Focusing on Utilization of Big Data -) | | |
| 調査委員会 | 委員長 諏訪部 圭太 委員 西村 訓弘 委員 豊福 裕二 |  | |
| 調査結果の要旨 | | | |
| <p>小田島春樹により提出された学位論文「観光地に立地する中小飲食店のプロセス・イノベーションに関する事例研究 —ビッグデータの活用を中心に—」について、各審査員による査読を行った。</p> <p>本学位論文は、地方観光地に立地する中小飲食店における経営改革の科学的実現・立証に向けたプロセス・イノベーションの確立を目的に、ビッグデータの AI 分析に基づいた予測アルゴリズムの構築とその実証検討を行ったものである。伊勢神宮内宮前ふびや大食堂をモデルとし、ポーター理論の価値連鎖の構成要素のひとつである「支援活動」に影響する可能性のある要因と来客数との相関性に関する重回帰分析を行い、90%近い精度で予測可能であることを明らかにするとともに、それを活用した仕入れや労働環境、待遇等の改善を実現し、その有効性を実証した。また、画像解析を用いた来客数や購買動向の分析技術を確立し、小売店舗の管理運営を向上させた。</p> <p>以上の結果は、緒言から考察まで首尾一貫した論理構成で本学位論文に記述され、図表や引用文献等も適切に記載されている。またこれら研究成果は、第1著者として日本語関連論文1報および国際会議英文プロシーディング1報として公開されている。</p> <p>上記論文審査に加え、令和4年2月9日10:00~12:00に上記3名の審査委員による博士学位論文の口頭最終試験を行い、小田島春樹の博士としての基礎・専門知識について審査し、3名すべての審査委員が小田島春樹に対して博士としての知識・能力があると評価した。</p> <p>以上の結果を総合し、本調査委員会は、本論文が博士(学術)の学位を授与するにふさわしいものと判断した。</p> | | | |